

# 平成28年度 学校法人 三幸学園 大宮医療秘書専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 前川 祐一

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 鈴木 利広

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

卒業時に取っている「卒業生アンケート」の数値結果を向上させることに注力し、学校生活全般でのサポートを始め、就職サポートや資格取得のためのサポートにより力を入れた。

平成27年度卒業生アンケート 本校を勧めたい 49.5%

平成28年度卒業生アンケート 本校を勧めたい 67.4%

### ① 前年度重点施策振り返り

平成27年度の卒業生アンケートの結果を踏まえ、入学時に期待していたことの確認等を全教員で行う事で、生徒との関わりなどが検討でき、愛校心を持った生徒が多く存在するに至ったと感じている。しかし、まだ改善できる点は多く、生徒のニーズに合わせたサポート体制の強化が必要だと考えられる。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

教育理念や人材育成像など、入学時には重点的に話をしているが、その後の継続的な発信が出来ておらず、生徒の中に定着するまでに至っていない。

#### ② 今後の改善方策

ホームルーム等で定期的に発信していく事や、保護者にも年に数回送付している保護者文の中で、意識的に発信していく。学校と家庭とが同様の理解を持った上で、教育に携わっていきたい。

#### ③ 特記事項

特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（榎山さん）

- ・教室の時計の下など目につくところに常に教育理念が貼ってあったので、自分自身としては浸透していた。
- ・人によっては浸透具合に温度差があったと感じる。
- ・自ら学びたくて入学した人と、とりあえず入学した人との間に差が生まれていたのではないかと。

（薮島さん）

- ・いつも元気がよく、学生から声をかけてくれるので、教育がしっかりしていると感じている。

（鈴木さん）

- ・挨拶がしっかりしている。（病院からは挨拶ができることが高い評価につながるのととてもよい。）
  - ・社会人としては当たり前だが、休まず出勤してくれる。
- 上記よりしっかりとした教育体制を感じる。
- ・実際に就職している人たちは、若いので呑み込みが早いですが、大人と接する機会が少ないので基本的なことから教えなければいけないことも多い。
  - ・職人気質な人たちと一緒にいると、教えてもらうのではなく自分から覚えるのが当たり前になってしまい、いやになって続かない人もいるため、各々にあった職場（周りの人や環境）を選んであげたほうがいいかもしれない。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

コンプライアンスの研修は行ったが、まだ改善の余地がある。それを改善するための業務の効率化が求められるが、現状は効率化が図れていない。また、教育活動に関する情報公開が不十分である。

### ② 今後の改善方策

業務の効率化を図るための具体的な対策を講じ、教職員の労働時間軽減を図ることで、コンプライアンスの遵守もされるよう、努めていく。また、教育活動における情報公開を積極的に行っていく。

### ③ 特記事項

特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（樫山さん）

・生徒から見て、先生たちはいつも職員室にいると感じていた。（朝も夜も土日も）

（鈴木さん）

・日本教育クリエイトでは土日休み、20時間前退社というようなルールができ、よほどでない限りは守られている。状況にもよるが環境整備がされてきている。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

授業は、現場で必要とされる知識や技術の習得に向けて取り組ませているものの、即戦力としての知識というより、検定取得のための知識になりがちであり、産学連携を十分に活用できていない。また、キャリア教育を視野に入れてのカリキュラムになっていない現状もある。

#### ② 今後の改善方策

教員が医療機関へ伺った際のお話や、医療機関の方に来ていただいているお話など、医療機関からの声を生徒に届ける機会を多く持つようにする。また、産学連携を活発化させ、生徒自身が医療機関に伺う機会を増やすなどの取り組みも検討する必要がある。今後、学園全体としてカリキュラムを検討していく中で、不十分な点を補っていく。

#### ③ 特記事項

特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

(榎山さん)

- ・手話の授業が実践に役立ったのでやっていたよかった。
- ・検定week があるが、正直勉強がいやだった。ただ、検定取得に向けてクラスのみんなで協力できた。先生のサポートがあったというわけではなく、自分たちで支えあった。(自然とクラスの雰囲気よかった)
- ・現場でどういう人材が求められているのかをもっと教えてほしかった。求められている人物像のイメージがつきづらかった。
- ・行動力、実践力をもっと身につけたかった。現場に出た際に知識があってもとっさには行動に移せず、救急なども経験したがケースバイケースで動くことができなかった。

(鈴木さん)

- ・語学の勉強も取り入れたらいいのでは。(大きな病院では、海外の方が来院されることがあるため、必要とされる)

(M校)

- ・資格はたくさん持っていてよいとされるが、実際に人と接した際はコミュニケーション能力が多少欠如していることが課題と感じている。
- ・シュミレーション大会などの実施を検討し、マニュアルにない対応力を身につけることを課題と考えている。
- ・資格を持っている＝現場において「できる」という理解をされてしまっているが、実際はそうではないので改善が必要。
- ・略語を理解させることも必要だと感じている。
- ・H31年を目処に、資格取得のための授業から即戦力のための授業へとカリキュラム編成をして、即戦力・コミュニケーション能力のある人材を目指す。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

年々生徒の学力や精神面の問題が上がってくるなかで、資格取得率の向上を目標に更にサポートしていく必要がある。また、退学を希望する生徒が少なからず出ている状況もあり、低減に向けた対策が必要になっている。

##### ② 今後の改善方策

資格取得に向けては、各教科担当間での情報共有を行う事や、姉妹校の状況をヒアリングしながら、合格率向上に向けて対策していく。また、退学率については早期に生徒の変化をキャッチし、面談を実施する。

##### ③ 特記事項

特になし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

(桜山さん)

- ・同級生で辞めた子もいたが、医療現場を知っているわけではないので、現場の魅力は伝えられない。そのため同じ生徒で退学を止めるのは難しい。現場を知っている先生に対応してほしい。
- ・辞める理由は授業についていけない・他にやりたいことがある・将来の方向性が変わった・クラスに馴染めない等。
- ・クリニックに勤務していたが、長くても3年で辞める人が大半を占めている。

(鈴木さん)

- ・病院の目安は5年だが、派遣社員は2年で辞める人が多い。
- ・辞める理由は、表向きはスキルアップのためとなっているが、実は人間関係に悩んでいる人が多い。かつチームワークに慣れない人や、モチベーションの維持が難しい等の理由も挙げられている。
- ・看護師と医療事務ではそもそも勉強してきた内容や心構えが違うが、同じ現場にいると同じものを求められてしまう傾向にあるので、周りの理解がもっと必要になるのでは。
- ・職員が医療現場にいた際は、フォロー体制がしっかりしていたので辞める人がいなかった。人が辞めないようなフォローとは何かを考えなければならない。

(M校)

- ・1年生の時期から現場を見る機会を増やす取り組みをしている。実際にバックヤードを見て理解を深めることで刺激になっているようだ。

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

就職については、「Wフォローアップ」という担任とエリア担当からの支援をすることになっているが、担任からのサポートがほとんどになってしまい、エリア担当の活用が出来ていなかった。また、内定をもらうための対策が授業内だけになりがちで、放課後等を使った対策の促しが十分でなかった。

### ② 今後の改善方策

生徒にも早期にエリア担当を認識させる為に、ガイダンスを早い時期に実施していく。また、放課後を使ったガイダンスの開催や、面接練習の強化（開催するだけでなく、生徒への参加促し）を行っていく。

### ③ 特記事項

特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（樫山さん）

・希望地域の求人情報があまりなかったため、自分で就職先を調べて決めたが、その際の面接のサポート等は先生方に手厚くしてもらった。

・就職先に、姉妹校など三幸グループの先輩がいるということを知り安心することができた。

（鈴木さん）

・労働人口の減少に伴って、現在は企業も人を選べない状況なので、よほどの人ではない限りは採用している。ただ、すぐ辞めてしまう現状があるので、働く人の話をよく聞き、派遣先等企業に伝え改善に努めなければならない。辞めないようなフォローやヒューマンメンテナンスが大変になってきている。

・人間関係の強化が必要。就職の際にはキャリアアドバイザーを活用するといいいのでは。

（M校）

- ・スクールカウンセラーを設置しているが、相談に来られない生徒のフォローは検討が必要。
- ・保護者参観の実施を検討。また、プラスの情報共有もできるようにしていく。
- ・企業とよい人間関係を作っておくと相手も親近感を持って対応してくれるので、引き続き環境づくりに注力する必要がある



## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

### ① 課題

備品の不備による授業の遅れが発生することもあった。また、より実践的な授業を行える施設の整備が必要であると考えられる。

防災については教員は非難経路の確認等を行っているが、生徒への周知が不十分であると考えられる。

### ③ 今後の改善方策

備品の不備に関しては早急に対応する。また、施設に関しては今後のカリキュラム検討中で、併せて検討していく。

防災に関しては、再度教員には避難経路の周知と、生徒にも災害の際の対応をホームルーム等で下していく。

### ③ 特記事項

特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

(榎山さん)

- ・実習室(ベッド等)があるにも関わらず、在学中に数回しか使ったことがない。
- ・実践に使える施設が増えればいいと思う。
- ・現場で実際に使うものの名前を覚えられるようにしてほしい。物品を購入できるならなおよいが、写真を使うなどの授業があればよい。(似たような器具もたくさんあるので、違いが分かるように)

(M校)

- ・カリキュラムの整備にあたり、施設の充実と活用方法について検討中。

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

医療事務の魅力を、来校する前に感じてもらえるような発信が十分ではない。また、学校生活をイメージしてもらうために学校見学への促しを行っているが、十分に出来ていない。

### ② 今後の改善方策

相手のニーズに合ってる内容でSNSを使って発信していく。また、オープンキャンパスや学校見学等への促しもSNSやダイレクトメールなどで積極的に行い、正しい情報を伝えていく。

### ③ 特記事項

特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

(M校)

・専門学校を挟まず、高校卒業後そのまま就職する人が増えているため、専門学校や医療事務の職業の魅力をさらに発信しなければならない。

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

今年度中新中期計画を策定する予定である。

#### 【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

### ③ 特記事項

なし

#### 【委員コメント】

・特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

個人情報についての注意は払っているものの、十分とは言い切れない状況がある。また、自己評価の問題点については、改善に向けて更なる努力が必要であると考え。

### ② 今後の改善方策

問題点を教職員に共有し、個人個人が意識して改善していける環境作りをしていく。また、個人情報については、前のコンプライアンスにも関わってくる点も大きくあるため、よりセキュリティの強化を行っていく。

### ③ 特記事項

特になし

### ⑤ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

社会貢献・地域貢献に繋がる活動や、生徒へのボランティアの促しが出来ていない。

### ② 今後の改善方策

産学連携の充実を図り、社会や地域との繋がりに結びつけていく。また、その結びつきから生徒のボランティアに繋がる活動への参加などが積極的に出来る環境を作っていく。

### ③ 特記事項

特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（樫山さん）

- ・献血活動を2年生の時にしていたが、学校の取り組みとして強制参加だった。ただ、そういった活動があっただけよかったと思っている。
- ・献血等の必要性が認知されていないので、医療を身近に感じられる体験だった。
- ・知らない人に情報発信ができる点、クラスのメンバーと楽しくできる点、お菓子や飲み物などのような報酬がある点も楽しかったと感じられるポイントになっていた。

（鈴木さん）

- ・実際の医療現場では休みが少なく、休みたいという人が増えているのでボランティアをする人は少ないのが現状。

（M校）

- ・賃金としての見返りを求めている生徒が増えているので、奉仕の気持ちを諭さなければならない。
- ・学生でも医療環境にもっと関わられるようにしたい。

#### (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	2
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	2

##### ① 課題

医療事務の仕事では就労ビザの取得が難しく、勉強をする環境の提供は可能だが、その後の就職も視野に入れると積極的な受け入れが難しい状況である。

##### ② 今後の改善方策

受入れにあたり、就労ビザの理解等をもらいながら、それでも学びの場をという事であれば、積極的に受け入れていく。

##### ③ 特記事項

特になし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・H31年度からのカリキュラム変更に向けて、教育課程編成委員会での検討内容も含め、質の高い教育を提供できる環境を整えていく。